

## 第 2 章

---

### G7宮崎農業大臣会合の開催

G7 Agriculture Ministers' Meeting  
**in Miyazaki**

## I 開催の概要

### 1 G7宮崎農業大臣会合

#### (1) 宮崎到着・歓迎プログラム

■実施日 令和5年4月20日(木)～22日(土)

■場 所 宮崎ブーゲンビリア空港、コンベンションセンター2階正面入口

サポーターや子どもたちが、空港や会場に到着した参加国・国際機関の代表らをお出迎えしました。

##### ① 宮崎ブーゲンビリア空港到着・歓迎セレモニー



歓迎の声に応えるヴォイチェホフスキ委員(EU)



歓迎ムードに笑顔を見せるマケイン事務局長(WFP)

##### ② コンベンションセンター到着・歓迎セレモニー



手旗で代表団を歓迎する倉岡小学校の児童



穆佐小学校の児童から花束を受け取る  
ビボー大臣(加)



子どもたちの歓迎に笑顔で応える  
チュー事務局長 (FAO)



フェノー大臣 (仏) と古城小学校の児童

## (2) ティーセレモニー

■日 時 令和5年4月21日(金) 午後6時35分～午後7時10分

■場 所 コンベンションセンター3階ホワイエ

ティーセレモニー(呈茶)で参加国・国際機関の代表らをおもてなしました。セレモニーの終わりには、歓迎の花火を打ち上げました。



宮崎の和菓子を提供



点前披露



お茶の頂き方の説明を受ける代表ら



歓迎の花火を観覧する代表ら

## 第2章 G7宮崎農業大臣会合の開催

### (3) 歓迎レセプション

■日時 令和5年4月21日(金) 午後7時15分～午後8時45分

■場所 コンベンションセンター4階「天瑞」・「樹葉」

農林水産省と協議会の共催で、参加国・国際機関の代表団や地元関係者等を招待し、歓迎レセプションを実施しました。

#### <あいさつ・乾杯>

歓迎レセプションは、野村大臣及び河野知事のあいさつと、清山市長の乾杯で幕を開けました。



野村大臣のウェルカムスピーチ



河野知事のウェルカムスピーチ



清山市長の乾杯の挨拶  
乾杯酒は宮崎のスパークリング日本酒



県産杉のコサージュを胸に入場する代表ら



多くの参加者で賑わう会場



積極的に情報交換をする代表ら

<食のおもてなし>

宮崎が誇る食材を使った料理などで、参加者をおもてなししました。



「おいしさ日本一」の宮崎牛



県産野菜を使ったメニュー



マンゴーなどの県産フルーツ



県産のチョウザメを使った寿司



料理を手に歓談するビボー大臣(加)



お茶に興味を示すロッドブリージダ大臣(伊)



出席者に料理の説明などを行うサポーターの活躍



## 第2章 G7宮崎農業大臣会合の開催

### <焼酎等のふるまい>

バーカウンターでは、宮崎の焼酎を中心に、日本酒や焼酎のオリジナルカクテル等をふるまいました。



バーカウンターで説明を聞くフェノー大臣(仏)



県産の果物を使った焼酎カクテルの提供

### <アトラクション>

会場内では、神楽などの伝統芸能のパフォーマンスや、宮崎の情景等の映像の放映を行いました。



オープニングに披露された高千穂の夜神楽



三味線の演奏



和太鼓のパフォーマンス



アトラクションを楽しむ各国代表ら

## (4) 本会合

■開催日 令和5年4月22日(土)、23日(日)

■場 所 コンベンションセンター4階「蘭玉」

野村大臣が議長を務め、参加国・国際機関の代表らが会合を行いました。

### ① 次第

●令和5年4月22日(土)

プログラム1 「高校生との対話」 午前10時00分～午前10時35分

プログラム2 「企業等との対話」 午前11時20分～午後0時20分

プログラム3 「持続可能性向上に向けた各国の取組紹介」 午後2時30分～午後3時40分

プログラム4 「G7は世界のために何ができるか」 午後4時00分～午後5時20分

フォトセッション 午後5時25分～午後5時40分

●令和5年4月23日(日)

プログラム5 「更なるイノベーションの推進と普及に向けて」 午前9時00分～午前10時10分



本会合場の様子



本会合を進行する野村大臣



フォトセッション

## 第2章 G7宮崎農業大臣会合の開催

### ② 高校生の提言

- 日 時 令和5年4月22日(土) 午前10時00分～午前10時35分(本会合プログラム1にて)
- 場 所 コンベンションセンター4階「蘭玉」

公募により選ばれた県立高等学校14校20名の高校生がプロジェクトチームを結成し、参加国・国際機関の代表らに向け、未来の食や農業について提言しました。

提言の後、高校生が持続可能な農業に向けた取組について質問し、各代表から回答がなされました。



堂々と提言を行う高校生の姿



提言のキーワード「Together (共に)」を全員で伝える高校生



高校生の質問に答えるビボー大臣(加)



高校生の質問に答えるエズデミル大臣(独)

## (5) バイ会談

■開催日 令和5年4月21日(金)～23日(日)

■場 所 コンベンションセンター4階「アイボリー」、3階「四季乃」各室等

本会合等のプログラムの合間に、参加国・国際機関の代表によるバイ会談が行われました。



野村大臣とビルサック長官(米)の会談



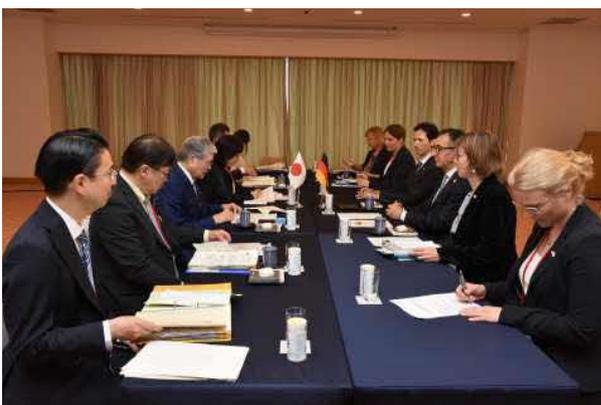
野村大臣とロッドブリージダ大臣(伊)の会談



会談後の野村大臣とビボー大臣(加)



野中副大臣とハリソン大臣(英)の会談



野村大臣とエズデミル大臣(独)の会談



野村大臣とフェノー大臣(仏)の会談

## 第2章 G7宮崎農業大臣会合の開催

### (6) HOD展示ツアー

■日時 令和5年4月22日(土) 午前10時35分～午前11時05分

■場所 コンベンションセンター2階・4階

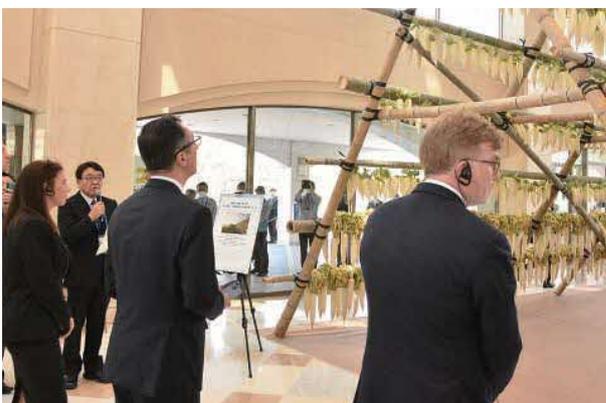
野村大臣をはじめ、参加国・国際機関の代表らが展示ブースの視察を行いました。



ピーマン自動収穫ロボットの展示を視察する代表ら



世界農業遺産ブースで説明を聞く代表らとVR体験をするヴォイチェホフスキ委員(EU)



日本農業遺産(大根やぐら)の説明を聞く代表ら

※ HOD (Head of Delegation) とは、代表団の代表者のこと

## (7) コーヒーブレイク

■日 時 令和5年4月22日(土) 午前11時05分～午前11時20分 等

■場 所 コンベンションセンター4階ホワイエ

本会合の休憩時間に、会合参加者に対して、県内の学生がレシピを考案した米粉スイーツやフルーツ、お茶等を提供しました。



スイーツの説明を聞くラリオ総裁 (IFAD)



会合参加者と言葉を交わす学生ら



県産フルーツ(完熟マンゴー、日向夏、温室メロン)の提供



県産茶を味わうエズデミル大臣(独)、ロツロブリージダ大臣(伊)、フェノー大臣(仏)



通訳として活躍するサポーター



スイーツの考案者・製作者ら

## 第2章 G7宮崎農業大臣会合の開催

### (8) ワーキングランチ

■日 時 令和5年4月22日(土) 午後0時30分～午後1時50分

■場 所 コンベンションセンター4階「クリスタル」

参加国・国際機関の代表らが出席し、ワーキングランチが行われました。

冒頭には、清山市長と河野知事がプレゼンテーションを実施し、市や県の農業をはじめ、宮崎の魅力について紹介しました。



プレゼンテーションを聞く参加国・国際機関の代表ら



プレゼンテーションを行う清山市長



プレゼンテーションを行う河野知事

## (9) 大臣主催夕食会

■日 時 令和5年4月22日(土) 午後7時00分～午後8時30分

■場 所 コンベンションセンター3階「風光」

参加国・国際機関の代表らが出席し、野村大臣が主催する夕食会が開催されました。

野村大臣、河野知事、清山市長から、記念品が披露されました。



夕食会の様子



記念品を贈呈され笑顔のハリソン大臣(英)とクヌッセン事務次長(OECD)



記念品(日之影町のわら細工)を紹介する河野知事



記念品(宮崎漆器の弁当箱、箸、箸置き)を紹介する清山市長



歓談する清山市長とエズデミル大臣(独)



記念品に触れるマケイン事務局長(WFP)とビルサック長官(米)

## 第2章 G7宮崎農業大臣会合の開催

### (10) 共同記者会見

■日 時 令和5年4月15日(日) 午前10時15分～午前11時00分

■場 所 コンベンションセンター4階「天瑞」

会合終了後、参加国の代表らによる共同記者会見が行われました。各代表から一言ずつ発言があったほか、質疑応答が行われました。



記者会見を行う参加国の代表ら



「G7農業大臣声明」及び「宮崎アクション」の採択が発表されました



大臣に質問する子ども記者

## (11) 現地視察

■日 時 令和5年4月23日(日) 午前11時35分～午後4時00分

■場 所 宮崎神宮、マンゴー園地、県立宮崎農業高校

宮崎の歴史と文化を有する宮崎神宮、完熟マンゴーを栽培するマンゴー園地、将来の農業を担う人材を育成する県立宮崎農業高校の現地視察が行われました。

### <宮崎神宮>



本殿での巫女舞鑑賞



宮崎神宮での記念撮影



神宮会館での昼食会の様子



昼食会での獅子舞鑑賞



食事の合間に意見を交わす清山市長とヴォイチェホフスキ委員(EU)



歓迎の意を表して掲げた国旗

## 第2章 G7宮崎農業大臣会合の開催

### <マンゴー園地>



完熟マンゴーを収穫する野村大臣



マンゴー農家 仁田協氏によるマンゴー生産技術の説明



マンゴーの香りを楽しむエズデミル大臣(独)



説明を聞く代表ら

### <県立宮崎農業高校>



スマート農業の実演を見学する代表団



スマート技術の実演を行う生徒ら



生徒による実習成果の紹介



代表らと直接言葉を交わす学生ら

## (12) 会場展示

■実施日 令和5年4月21日(金)～23日(日)

■場 所 コンベンションセンター4階ホワイエ、2階アトリウム

会合参加者に対して本県の食や農の特色や魅力をPRするため、農業技術や観光情報等の展示を行いました。



世界農業遺産(高千穂郷・椎葉山地域)



ピーマン自動収穫ロボットと施設園芸環境制御



地域資源循環型農業



人材育成の取組



日本農業遺産(大根やぐら)



観光・スポーツ・物産情報

## 第2章 G7宮崎農業大臣会合の開催

### (13) 会場装花

■実施日 令和5年4月21日(金)～23日(日)

■場所 コンベンションセンター各所

県産の花や、小中学校の児童・職員が育てた花々が会場を彩り、会合参加者をおもてなしました。



歓迎パネル装花



写真スポットになったフラワーボード



本会会場装花



要人控室装花



バイ会談場入口装花



小学生や小中学校用務員による歓迎装花

## (14) 宮崎出発・お見送りプログラム

■実施日 令和5年4月22日(土)～24日(月)

■場 所 宮崎ブーゲンビリア空港

サポーターや河野知事、清山市長が、宮崎から出発する参加国・国際機関の代表らをお見送りしました。



空港にて野村大臣をお見送りする際に記念撮影



フェノー大臣(仏)をお見送り



ヴォイチェホフスキ委員(EU)と握手する河野知事



エズデミル大臣(独)と握手する清山市長



ヴォイチェホフスキ委員(EU)にお礼を伝えるサポーターら

## 第2章 G7宮崎農業大臣会合の開催

### (15) アフターツアー

■日 時 令和5年4月23日(日) 正午～午後2時00分

■場 所 コンベンションセンター各所

会合の運営等に携わった学生やサポーターを対象に、本会合終了後に会場見学ツアーを開催しました。



本会合場を見学する参加者



自動収穫ロボットを見学する参加者



VR体験を楽しむ参加者



会場装花の花に見入る参加者



共同記者会見場で代表になりきる参加者



担当者から展示の説明を受ける参加者

## 2 サイドイベント（セミナー）

■実施日 令和5年4月21日（金）

■場 所 コンベンションセンター2階「ファウンテン」

会合のサイドイベントとして、3つのセミナーが開催されました。

セミナーは、県内の関係者や学生らが出席したほか、オンラインでも公開されました。

<次第>

■セミナー1 午前10時30分～午前11時50分

「持続可能な木材利用によるネット・ゼロ及び循環経済の実現に向けて」

■セミナー2 午後1時30分～午後3時00分

「強靱で持続可能な農業食料システム構築に向けて～フードサプライチェーンにおける食品産業の貢献～」

■セミナー3 午後4時00分～午後5時20分

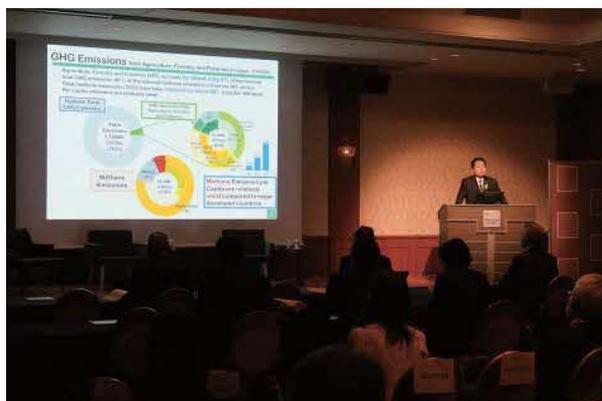
「気候変動に対応するイノベーションと行動～みどりの食料システム戦略を契機として～」



セミナー1の様子  
オルガンスキ教授(米国 イェール大学)の講演



セミナー2の様子  
ラリオ総裁(IFAD)の講演



セミナー3の様子  
野中副大臣の講演



セミナー3の様子  
ビルサック長官(米国)の特別講演

## 3 安全確保の取組

■場 所 コンベンションセンター及びその周辺  
会合は厳重な警備のもと実施されました。

<宮崎県警察による警戒警備>



会場周辺の警戒に当たる警察官



検問の様子



海上を巡回する様子



現地視察先周辺を巡回する警察官

<第十管区海上保安本部による洋上警備>



海上警備の様子



上空からの警備の様子

## II 開催の記録

### 1 G7 宮崎農業大臣会合

#### (1) 宮崎到着・歓迎プログラム

##### ① 宮崎ブーゲンビリア空港到着・歓迎セレモニー

###### ア 実施主体

協議会

###### イ 日時

令和5年4月20日(木) 午後6時00分～午後7時00分

4月21日(金) 午前11時00分～午後6時00分

###### ウ 場所

宮崎ブーゲンビリア空港西側関係者駐車場

###### エ お出迎え

宮崎サンシャインレディ、みやざき犬、ミッシちゃん、サポーター、宮崎県協力職員、宮崎空港ビル及びエアライン関係者

###### オ 内容

宮崎ブーゲンビリア空港西側関係者入口に設置したウェルカムボード前で、参加国・国際機関の代表らを手旗を振ってお出迎えし、花首飾りを贈呈して歓迎。

※ 4/20(木) 到着のイタリア及び4/21(金) 到着の米国は空港での歓迎セレモニーの実施なし

※ 4/21(金) 午後9時到着の OECD は県職員、空港ビル職員、委託先職員のみでセレモニーを実施



ウェルカムボード

##### ② コンベンションセンター到着・歓迎セレモニー

###### ア 実施主体

協議会

###### イ 日時

令和5年4月21日(金) 正午～午後7時00分

4月22日(土) 午前8時30分～午前9時00分

## ウ 場所

コンベンションセンター2階正面入口付近

## エ お出迎え

(ア) 宮崎市立穆佐小学校児童

(イ) 宮崎市立倉岡小学校児童

(ウ) 宮崎市立古城小学校児童

(エ) サポーター、宮崎県協力職員

※ (ア)～(ウ)の小学校が時間帯を分けてセレモニーを実施

※ 4月22日(土)にセレモニーを実施したOECDは、(エ)のみでセレモニーを実施

## オ 内容

コンベンションセンター2階正面入口付近に設置したウェルカムボード前で、参加国・国際機関の代表らを手旗を振ってお出迎えし、花束を贈呈して歓迎。

### ※折り紙ウェルカムボードの作成

#### ア 実施主体

協議会

#### イ 日時

令和5年4月13日(木)～14日(金)

#### ウ 場所

宮崎市立倉岡小学校、古城小学校、穆佐小学校の体育館

#### エ 内容

県内26市町村の小学生に、各国の国旗で使われている色の折り紙で、本県が全国に誇るピーマンを約1万枚折ってもらい、歓迎セレモニーに参加する宮崎市内の3小学校の児童がボードに張り付けて完成。

完成したウェルカムボードは、コンベンションセンター2階正面入口付近に設置し、参加国・国際機関の代表らを、折り紙をボードに張り付けた児童が歓迎した。



折り紙ウェルカムボード

## (2) ティーセレモニー

心のこもった「おもてなし」を通して日本文化の理解醸成を図るとともに、宮崎県産茶の魅力を広く発信するため、参加国・国際機関の代表らに対し、呈茶体験を実施した。

呈茶終了後は、ウェルカム花火を打ち上げた。

### 〈呈茶〉

#### ア 実施主体

農林水産省

#### イ 日時

令和5年4月21日(金) 午後6時35分～午後7時10分

#### ウ 場所

コンベンションセンター3階ホワイエ

#### エ 内容

- ・表千家同門会宮崎県支部及び裏千家淡交会宮崎支部による点前披露
- ・茶と菓子で一服
- ・歓談



### 〈ウェルカム花火〉

#### ア 実施主体

協議会

#### イ 日時

令和5年4月21日(金) 午後7時10分

#### ウ 内容

- ・シーガイア正面ゴルフ場北側付近から計90発の花火を打ち上げ
- ・参加国・国際機関の代表が観覧

#### エ 観覧場所

コンベンションセンター3階ホワイエ



### (3) 歓迎レセプション

宮崎県産の食材をふんだんに使用した料理で参加国・国際機関の関係者を「おもてなし」とともに、本県の「食」と「文化」をPRし、関係者にその魅力を五感で体験いただいた。

#### ア 実施主体

農林水産省、協議会

#### イ 日時

令和5年4月21日(金) 午後7時15分～午後8時45分

#### ウ 場所

コンベンションセンター4階「天瑞」・「樹葉」

#### エ 形式

立食ビュッフェ

#### オ 参加者

約280名(協議会招待客の出席は94名)

#### カ プログラム

(ア) オープニングアトラクション

高千穂神楽

(イ) 主催者挨拶

農林水産大臣 野村 哲郎

(ウ) 主催者挨拶

宮崎県知事 河野 俊嗣

(エ) 乾杯

宮崎市長 清山 知憲

(オ) アトラクション

村上三絃道(三味線)

(カ) クロージングアトラクション

橘太鼓 響座

(キ) 中締め

農林水産副大臣 野中 厚

## キ 内容

### (ア) 食のおもてなし

宮崎県の食材を中心に、輸出実績のある食材やGI（地理的表示）製品を使用した料理を提供【使用された県産食材等】

#### 畜産エリア

宮崎牛、宮崎ブランドポーク、みやざき地頭鶏、チキン南蛮、ピーマン

#### 山エリア

ヤマダイかんしょ、佐土原ナス、椎茸、猪肉（ジビエ）

#### 海エリア

宮崎キャビア、白チョウザメ、うなぎ、奥日向サーモン、えびの産米「ヒノヒカリ」、たまねぎ、ズッキーニ等

#### 農村エリア

トマト、きゅうり、キャベツ、有機野菜（馬鈴薯、サニーレタス等）、日向産米「ヒノヒカリ」、新富産米「夏の笑み」、やぐら大根のたくあん、完熟マンゴー、パパイヤ、日向夏、いちご、かんしょ 等

#### メニュー表

Menu		※赤色：宮崎県産
<b>畜産エリア</b> 鹿児島黒牛・ロスしゃぶしゃぶ 宮崎ブランドポークしゃぶしゃぶ ～辺塚だいたい・を使ったボン酢～ 宮崎牛・ロス鉄板焼き ピーマンと共に かごしま黒豚鉄板焼き 神戸牛・ロス鉄板焼き ～辺塚だいたい・を使ったボン酢～ くまもとあか牛・ロスローストビーフ ～グレービーソース～ 宮崎郷土料理 チキン南蛮 タルタルソース 宮崎牛・モモカツラーガー 川尻シャモのピタパンサンドイッチ みやざき地頭鶏炭火焼き	<b>農村エリア</b> 餅つき ～粒あん、納豆、黒蜜、きな粉～ トマトとモッツアレラチーズ 煮造り黒酢★ ほうれん草と椎茸のお浸し プラントベースうなぎのうな丼 見える化野菜★（トマト、キュウリ、キャベツ等）と有機野菜（馬鈴薯、サニーレタス等）のサラダステーション おにぎり～梅干し、宮崎牛・時雨煮などやぐら大根のたくあん 佐土原茄子のピュレとかんしょ、ズッキーニ、カラーピーマンのグリル 国内産大豆ミートと野菜のチャーハン ※料理等で使用するコメは「ヒノヒカリ（日向産）」「夏の笑み（新富産）」「見える化されたコメ」を使用しています。	<b>海エリア</b> 握り寿司 白チョウザメの押し寿司 宮崎キャビアのせなど数種 うなぎの白焼き カンパチのムニエル 黒酢きんかん風味ソース 玉葱、ズッキーニ、佐土原茄子のトマト煮込みと共に 奥日向サーモンとあかす海老 大分カボス★添え ※料理等で使用するコメは「ヒノヒカリ（えびの産）」を使用しています。
<b>山エリア</b> 天麩羅 椎茸の七輪焼き 猪肉の赤ワイン煮 猪肉の塩麴漬香草焼き	<b>デザート</b> かんしょのタルト 日向夏みかんのパンナコッタ ドライフルーツのサブレ いちごとチーズのムース リンゴパイ	<b>ドリンクメニュー</b> <b>乾杯酒</b> ・はじまり（醸造池田） <b>クラフトビール</b> ・栗黒 ・日向夏のフルーツラガー <b>ワイン</b> ・マスカットベリーA（赤） ・シャルドネ（白） ・キャンベル・アーリー（ロゼ） <b>その他酒類</b> ・宮崎本格焼酎（芋焼酎、麦焼酎、焼酎カクテル）など ・日本各地の焼酎、日本酒など <b>ソフトドリンク</b> ・へべすドリンク ・人參ジュース ・その他ソフトドリンク <b>お茶</b> ・煎茶、紅茶、烏龍茶など
「◇」 ビーガン：原料等にビーガン対応のものを使用したメニュー 「●」 GI産品：地域ならではの自然的、人文的、社会的な要因の中で育まれてきた品質、社会的評価等の特性を有する食材 「★」 見える化野菜：生産者の環境負荷低減の努力を、星マークの数で表した野菜		

### (イ) 乾杯

発泡清酒「はじまり」を使用

### (ウ) 宮崎県産焼酎等のPR

- 宮崎県酒造組合に加盟の全37蔵元の本格焼酎・日本酒
- 宮崎市内のバーテンダーによる、県産フルーツ（完熟きんかん・日向夏）を使用した焼酎カクテル2種
- 宮崎県内のビール醸造所による地ビール2種（栗黒・日向夏フルーツラガー）

### (エ) いちごの展示・試食

宮崎市内の生産者が栽培したいちごを展示し、来場者の摘み取り体験や試食を実施

### (オ) 鉢植マンゴーの展示

果実へのネット掛けを施したマンゴーの鉢植2鉢（県総合農業試験場管理）を展示

### (カ) 宮崎県産木材のPR

焼酎等のPRブースにおいて、県産スギ材で製作した焼酎棚を設置

# 第2章 G7宮崎農業大臣会合

## ク 会場レイアウト



山エリア  
「椎茸原木の展示」



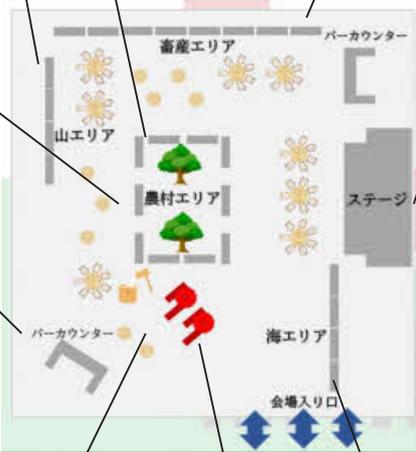
農村エリア  
「マンゴー鉢植の展示」



畜産エリア  
「宮崎牛等のPR」



農村エリア  
「いちごの展示」



ステージアトラクション  
「高千穂神楽」等



バーカウンター  
「本格焼酎等のPR」



アトラクション  
「和太鼓」



アトラクション  
「もちつき体験」



日本茶の文化をPR



海エリア  
「チョウザメ・キャビアをPR」

## (4) 本会合

### ア プログラム1

- (ア) 日 時 令和5年4月22日(土) 午前10時00分～午前10時35分
- (イ) 場 所 コンベンションセンター4階「蘭玉」
- (ウ) テーマ 高校生との対話
- (エ) 内 容 宮崎県内の高校生から参加国・国際機関の代表らへ、未来の食や農業について提言がなされた。また、持続可能な農業に向けた取組について質問し、各代表から回答がなされた。

### イ プログラム2

- (ア) 日 時 令和5年4月22日(土) 午前11時20分～午後0時20分
- (イ) 場 所 コンベンションセンター4階「蘭玉」
- (ウ) テーマ 企業等との対話
- (エ) 内 容 4月21日(金)にサイドイベントとして実施したセミナーの出席者から、内容等について報告がなされた。

### ウ プログラム3

- (ア) 日 時 令和5年4月22日(土) 午後2時30分～午後3時40分
- (イ) 場 所 コンベンションセンター4階「蘭玉」
- (ウ) テーマ 持続可能性向上に向けた各国の取組紹介
- (エ) 内 容 強じんて持続可能な農業・食料システムの達成に向け、具体的な施策が議論された。

### エ プログラム4

- (ア) 日 時 令和5年4月22日(土) 午後4時00分～午後5時20分
- (イ) 場 所 コンベンションセンター4階「蘭玉」
- (ウ) テーマ G7は世界のために何ができるか
- (エ) 内 容 ウクライナのソルスキー農業政策・食料大臣がオンラインで出席し、G7各国からウクライナへの支援や世界の食料安全保障についての考え方が示された。

### オ フォトセッション

- (ア) 日 時 令和5年4月22日(土) 午後5時25分～午後5時40分
- (イ) 場 所 コンベンションセンター4階「蘭玉」
- (ウ) 参加者 参加国・国際機関の代表 12名

### カ プログラム5

- (ア) 日 時 令和5年4月23日(日) 午前9時00分～午前10時10分
- (イ) 場 所 コンベンションセンター4階「蘭玉」
- (ウ) テーマ 更なるイノベーションの推進と普及に向けて
- (エ) 内 容 イノベーションの更なる推進と普及を強化するために各国が取り組む独自の政策の方向性について共有された。

## (5) バイ会談

会合のため来日した参加国・国際機関の代表らと、野村大臣、野中副大臣とで、バイ会談を実施した。

実施日	相手方
令和5年4月20日(木)	F A O
	I F A D
令和5年4月21日(金)	米国
	E U
	ドイツ
	英国
	イタリア
	W F P
令和5年4月22日(土)	O E C D
	カナダ
令和5年4月23日(日)	フランス

## (6) 展示ツアー

### ① プレス展示ツアー

#### ア 日 時

令和5年4月21日(金) 午前10時00分～正午

令和5年4月22日(土) 午後4時00分～午後5時00分

#### イ 場 所

コンベンションセンター 4階ホワイエ、2階アトリウム

コンベンションセンター 2階フロア

#### ウ 参加者

報道関係者

#### エ 視察内容

(12) 会場展示 カ 小間レイアウト・出展者一覧(P56・P57)の各ブースを視察

## ② HOD展示ツアー

### ア 日時

令和5年4月22日(土) 午前10時35分～午前11時05分

令和5年4月22日(土) 午後1時50分～午後2時30分(電動トラクターのデモ走行)

### イ 場所

コンベンションセンター 4階ホワイエ、2階フロア、アトリウム

コンベンションセンター 2階正面玄関前

### ウ 参加者

#### Aグループ

国・国際機関名	
1	日本
2	カナダ
3	EU
4	米国
5	IFAD
6	OECD

#### Bグループ

国・国際機関名	
1	日本
2	フランス
3	ドイツ
4	イタリア
5	英国
6	FAO
7	WFP

### エ 視察内容

先導者が歩きながらブースを一言コメントで紹介し、説明対象ブースでは、担当者が日本語で説明し各国言語(英、仏、独、伊)に同時通訳してトランシーバーから流した。

A及びBグループの2つに分けて効率的に展示ツアーを実施した。

	内 容	展示主体
1	日本の農業協同組合(JA)及び国際協力の取組紹介(JA全中)	農林水産省
2	農業女子のおもてなし(農業女子プロジェクト)	農林水産省
3	国内の堆肥ペレットと稲わらの広域流通実例紹介(JA 鹿児島県経済連)	農林水産省
4	ピーマン自動収穫ロボット、施設園芸環境制御	協議会
5	世界農業遺産高千穂郷・椎葉山地域	協議会
6	持続可能な木材利用によるネット・ゼロ及び循環経済に向けて(国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所ほか)	農林水産省
7	日本農業遺産(大根やぐら)	協議会

※上記は、説明対象ブース抜粋

## (7) コーヒーブレイク

県産農産物を使用した米粉スイーツや県産のフルーツ、お茶を提供し、会合参加者へのおもてなしと宮崎の農産物のPRを実施した。

### ア 日時

令和5年4月22日(土) 午前11時05分～午前11時20分、午後3時40分～午後4時00分

### イ 場所

コンベンションセンター4階ホワイエなど

### ウ 協議会提供品

(ア) 米粉スイーツ

#### a 内容

4種類 560個(コーヒーブレイクのほか、プレスルーム、アフターツアーなどでも提供)

品名	数量	備考
申間のお芋 de フロランタン	140個	米粉スイーツレシピコンテスト 県立高校の部グランプリ
ごぼうのフロランタン風 さつまいもケーキ	140個	米粉スイーツレシピコンテスト 私立高校の部グランプリ
日向夏のマーメイド入り バターサンド	140個	米粉スイーツレシピコンテスト 高等教育機関の部グランプリ
みのりだんご	140個	J A 宮崎県女性組織協議会 第35回お米料理コンクール優秀作品

#### b スイーツの選定方法

※米粉スイーツレシピコンテストのとおり

#### (イ) 県産フルーツ

完熟マンゴー：80食、日向夏：100食、温室メロン：100食 計280食

(コーヒーブレイクのほかプレスルームでも提供)

#### (ウ) 県産茶

釜炒り茶、煎茶を急須、水出し、ティーバッグにて提供

(コーヒーブレイクのほか、プレスルーム、セミナーなどでも提供)

### エ 紹介方法

(ア) サポーターがスイーツの内容を説明

(イ) 米粉スイーツ等の説明・原材料(アレルギー)のポップを表示



スイーツ提供ブースの様子



ポップの表示

## オ その他(農林水産省の提供物)

スイーツ：SILKFOOD ホワイトチョコレート、BASE BREAD、ハイハイン、南部せんべい、あんぼ柿 ほか

飲料：カート缶水 GreenPack Water、京都宇治玉露「玉兎」、ふくしま桃の恵み ほか

## ※米粉スイーツレシピコンテスト

小麦粉の代替食材として期待されている「米粉」を活用したスイーツのレシピコンテストを実施し、グランプリ作品を会合のコーヒブレイクで提供することで、将来の宮崎を担う若い世代の人材育成や本県農産物の魅力発信を図った。

### ア 実施主体

協議会(宮崎県米消費拡大推進協議会と共催)

### イ 経過

(ア) 募集(1月11日(水)～2月13日(月))

食品加工や調理系学科のある県内高校や高等教育機関(専門学校、大学等)計17校の学生を対象にレシピを募集。

(イ) 一次審査(2月14日(火)～20日(月))

書類審査において、応募総数98作品(県立高校の部33作品、私立高校の部52作品、高等教育機関の部13作品)から最終審査に進む12作品を選定。

(ウ) 最終審査(3月4日(土))

審査会(プレゼン・実食)において、各部門のグランプリ3作品を決定

(エ) 表彰式(3月20日(月))

グランプリ受賞者の表彰式を実施

### ウ グランプリ作品介绍

米粉スイーツレシピコンテスト県立高校の部グランプリ	
作品名 <b>串間のお芋deフロランタン</b>	
宮崎農業高等学校・LLV 作 (メンバー:串間桃華・岩元理穂・尾山望純・新納志帆・長瀬悠歌)	
	
使用した宮崎県産食材	セールスポイント
<ul style="list-style-type: none"> <li>米粉</li> <li>苺</li> <li>無塩バター</li> <li>卵</li> <li>蜂蜜</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>米粉のサクほろ生地と、さつまいも各キャラメルのカリッと食感が楽しい</li> <li>宮崎県産さつまいものおいしい食べ方を発見</li> </ul>
G7 宮崎農業大臣会合 2023 4.22-23	

米粉スイーツレシピコンテスト私立高校の部グランプリ	
作品名 <b>ごぼうのフロランタン風 さつまいもケーキ</b>	
日南学園高等学校・日南和(ひなご) 作 (メンバー:濱崎心結・永井彩香・中西由理亜・黒木楓)	
	
使用した宮崎県産食材	セールスポイント
<ul style="list-style-type: none"> <li>米粉</li> <li>ゴボウ</li> <li>さつまいも</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外ではあまり食べられていないごぼうの堅硬しさを知って試してごぼうをメインにレシピを考えました。</li> <li>賞状名簿のゴボウから考えました。</li> <li>さつまいもの優しい甘みと香ばしいごぼうの香りがポイントです。</li> </ul>
G7 宮崎農業大臣会合 2023 4.22-23	

米粉スイーツレシピコンテスト高等教育機関の部グランプリ	
作品名 <b>日向夏のマーメイド入りバターサンド</b>	
マナビヤ宝館アカデミー・クインテット 作 (メンバー:林真里・中尾有里沙・宮本夕莉・田口星来・松ヶ迫朱音)	
	
使用した宮崎県産食材	セールスポイント
<ul style="list-style-type: none"> <li>米粉</li> <li>日向夏</li> <li>日向夏マーメイド</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クッキーとバタークリームに日向夏の緑をつけ、食べた後も日向夏の風味が残るといふことができた。</li> <li>米粉入りのクッキーのサクサクとした食感とバタークリームの滑らかな舌触りがよくマッチします。</li> </ul>
G7 宮崎農業大臣会合 2023 4.22-23	

## (8) ワーキングランチ

### ア 日時

令和5年4月22日(土) 午後0時30分～午後1時50分

### イ 場所

コンベンションセンター4階「クリスタル」

### ウ 参加者

参加国・国際機関の代表及び高官ら 30名

### エ 内容

(ア) 開宴あいさつ 農林水産省輸出・国際局長 水野 政義

(イ) プレゼンテーション① 宮崎市長 清山 知憲  
宮崎県知事 河野 俊嗣

(ウ) 食事・歓談

(エ) プレゼンテーション② 国立研究開発法人国際農林水産業研究センター 理事長  
小山 修

### オ 食事メニュー(※食事に配慮が必要な参加者には、別メニューを提供)

#### 【オードブル】

- ・はかた地どりとエリンギの香草焼き
- ・魚介(ブリ・カツオ等)のマリネ きんかん風味
- ・奥日向サーモンとズッキーニのロール仕立て 宮崎キャビアと共に
- ・鹿児島黒牛ローストビーフと有機野菜(ベビールッコラ)
- ・やぐら大根のたくあん

#### 【スープ】

- ・かんしょのクリームスープ

#### 【肉料理】

- ・宮崎牛フィレと有機の温野菜 辺塚だいだいを使ったポン酢と共に

#### 【デザート】

- ・フラ雲メロンジュレ
- ・日向夏みかんのパナコッタ

## (9) 大臣主催夕食会

### ア 日時

令和5年4月22日(土) 午後7時00分～午後8時30分

### イ 場所

コンベンションセンター3階「風光」

### ウ 参加者

参加国・国際機関の代表及び高官ら 30名

### エ 内容

(ア) 主催者歓迎あいさつ・乾杯 農林水産大臣 野村 哲郎

(イ) 食事・歓談

(ウ) 記念品披露 農林水産大臣 野村 哲郎

宮崎県知事 河野 俊嗣

宮崎市長 清山 知憲

(エ) 中締めあいさつ 農林水産大臣政務官 藤木 眞也

### オ 食事メニュー(※食事に配慮が必要な参加者には、別メニューを提供)

#### 【乾杯酒】

謳歌ギムレット(宮崎芋焼酎ときんかんのカクテル)

#### 【前菜】

宮崎牛の昆布博多 ネギソース掛け

鹿児島黒牛の治部煮

佐土原茄子の揚げ浸し

美々鱈の壺造り黒酢南蛮漬け

車海老ゼリー寄せ 宮崎キャビア乗せ

鹿児島郷土料理 ヤマダイかんしょのがね

うるいのお浸し

黒瀬鯊の照り焼き

#### 【小鉢】

北海道産ホタテ貝の塩麴焼き

#### 【お造り】

伊勢海老、カツオ、黄金平目(辺塚だいだいポン酢)

#### 【煮物】

鹿児島黒牛の壺造り黒酢煮(白菜、白葱、クレソン、椎茸、薬味)

#### 【天麩羅】

車海老、佐土原茄子、太刀魚、新玉葱

#### 【お食事】

本鮪、五ヶ瀬ぶどうカンパチ、クエの握り寿司

黄金いくらの胡瓜巻き

鹿児島郷土料理「さつますもじ」

#### 【留椀】

伊勢海老のお味噌汁

#### 【甘味】

日向夏みかん、いちご

鹿児島郷土料理「あくまき」

#### 【飲み物】

お茶(有機霧島茶、天下一)

### (10) 共同記者会見

#### ア 日時

令和5年4月23日(日) 午前10時15分～午前11時00分

#### イ 場所

コンベンションセンター4階「天端」

#### ウ 参加者

参加国の代表 8名

#### エ 内容

(ア) 議長発言 農林水産大臣 野村 哲郎

(イ) 参加国代表発言 カナダ、EU、フランス、米国、英国、イタリア

(ウ) 質疑応答 子ども記者、邦人プレス、外国人プレス

## (11) 現地視察

### ① 視察：ルートA

#### ア 日時

令和5年4月23日(日) 午前11時35分～午後4時00分

#### イ 場所

宮崎神宮、マンゴー園地(仁田脇 義彦氏)、県立宮崎農業高校

#### ウ 参加者

野村大臣ら日本政府関係者と参加国・国際機関の代表及び高官ら27名

#### エ 内容

(ア) 宮崎神宮(午前11時35分～午後1時40分)

- a 「浦安の舞」の鑑賞
- b フォトセッション
- c 神宮会館での昼食会

(イ) マンゴー園地(午後1時55分～午後2時35分)

- a マンゴー生産技術の紹介
- b マンゴー収穫体験
- c 糖度測定の見学、試食

(ウ) 県立宮崎農業高校(午後2時55分～午後4時00分)

- a スマート農業実演
- b 生徒による実習成果の紹介
- c 記念撮影

### (参考：神宮会館の昼食会)

#### ア 食事形式

着席サーブ式

#### イ メニュー

【通常メニュー】

先付 桜豆腐 雲丹 鱈甲館 山葵 (先出し)  
 前菜 鳥賊真砂和え 春野菜のお浸し 甘乳蘇白和え  
 (先出し)  
 造里 日向灘獲れ旬魚のお造里 三種盛り あしらい一式  
 吸物 蛤潮汁仕立て 寿昆布 手毬麩 筍 木の芽  
 五色あられ  
 焼物 宮崎牛ステーキ(80g) 宮崎県産野菜添え  
 酢物 宮崎県産めひかり南蛮漬 宮崎彩りピーマン  
 (先出し)  
 御飯 宮崎産唐芋御飯 胡麻塩  
 水物 宮崎産日向夏、苺、わらび餅

【ベジタリアンメニュー】

先付 桜豆腐 山葵 ラデッシュ  
 前菜 春野菜のお浸し 法蓮草胡麻和え 白和え  
 造里 生湯葉、刺身蒟蒻 筍 椎茸  
 醤油又は酢味噌  
 吸物 野菜のすり流し (昆布出汁)  
 焼物 焼き野菜盛り合わせ オリーブオイル 岩塩  
 強肴 梅蕎麦 椎茸 三つ葉  
 御飯 宮崎産唐芋御飯 胡麻塩  
 水物 宮崎産日向夏、苺、わらび餅



## (12) 会場展示

地域資源の循環利用やイノベーションの推進など持続可能な農業の実現等に向けた取組について、全35点の展示(パネル、試食、実演を含む。)のうち、協議会からは6点の展示を実施した。

### ア 実施主体

協議会

### イ 目的

食や農、文化といった本県の魅力の発信とおもてなしの気持ちを伝えるため、農業技術や観光情報等を展示した。

### ウ 場所

コンベンションセンター 4階ホワイエ、2階アトリウム

### エ 展示内容

場 所	名 称	内 容	展 示 物
4階	地域資源循環型農業	農業副産物を活用した肥料・飼料の製造と、鶏ふん焼却による大規模発電システムの紹介。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル展示9枚</li> <li>・モニター展示</li> <li>・飼料・肥料サンプル</li> <li>・パンフレット</li> </ul>
	人材育成の取組	ドローン資格取得、GAP認証取得、学生出資会社などの人材育成の取組を紹介。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル展示4枚</li> <li>・モニター展示</li> <li>・加工食品サンプル</li> <li>・試食品</li> </ul>
	ピーマン自動収穫ロボット、施設園芸環境制御	独自のAIアルゴリズムとカメラによる高精度ピーマン自動収穫ロボットと環境制御ハウスの紹介。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動収穫ロボット</li> <li>・ピーマン苗木</li> <li>・園芸ビニールハウス</li> <li>・環境制御装置</li> <li>・パネル展示3枚</li> <li>・モニター展示</li> </ul>
	世界農業遺産 高千穂郷・椎葉山地域	伝統的な農林業と農村文化を未来へ繋ぐ山間地農林業複合システムを紹介。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジオラマ</li> <li>・VRデバイス10台</li> <li>・パネル展示</li> <li>・モニター展示</li> </ul>
2階	日本農業遺産(大根やぐら)	冬季の乾燥した冷たい西風(鰐塚おろし)を活用して大根を丸ごと一本干す伝統的な農林業システムを紹介。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大根やぐら実物</li> <li>・パネル展示</li> </ul>
	観光・物産展示	本県観光・物産に関する情報の紹介。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル展示27枚</li> <li>・モニター展示3台</li> <li>・物産品展示</li> <li>・試食品</li> <li>・VRデバイス2台</li> <li>・VRスタンド1台</li> <li>・パンフレット</li> <li>・運玉アトラクション</li> <li>・フォトスポット</li> </ul>

# 第2章 G7宮崎農業大臣会合

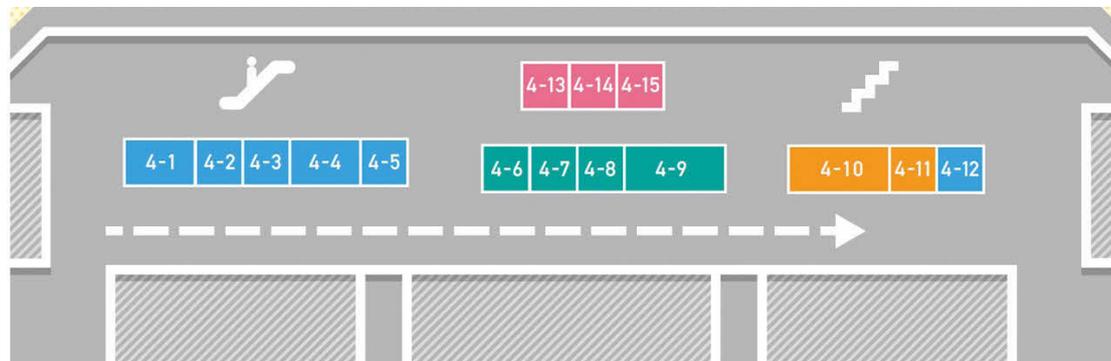
## オ パネル、キャプションなどでの使用言語

英語、日本語

## カ 小間レイアウト・出展者一覧

【4階】

協議会からの展示は4-1、4-2、4-9、4-10が該当。



ブース番号	展示テーマ	出展者名
4-1	地域資源循環型農業	G7宮崎農業大臣会合協力推進協議会
4-2	人材育成の取組	G7宮崎農業大臣会合協力推進協議会
4-3	日本の農業協同組合 (JA) および国際協力の取組紹介	一般社団法人全国農業協同組合中央会 (JA 全中)
4-4	農業女子のおもてなし	農業女子プロジェクト
4-5	国内の堆肥ペレットと稲わらの広域流通実例紹介	鹿児島県経済農業協同組合連合会
4-6	スマートグラス用農作業補助アプリケーション	株式会社 Root
4-7	水田抑草ロボ ー農薬を使用しない持続可能な水田雑草対策ー	井関農機株式会社 / 有機米デザイン株式会社
4-8	ドローンによるピンポイント農薬散布技術	株式会社オプティム
4-9	ピーマン自動収穫ロボット、施設園芸環境制御	G7宮崎農業大臣会合協力推進協議会
4-10	世界農業遺産 高千穂郷・椎葉山地域	G7宮崎農業大臣会合協力推進協議会
4-11	畳と絹で伝える和文化の魅力	全国い産業連携協議会 / 綾の手紬染織工房 / 一般財団法人大日本蚕糸会
4-12	サーキュラーフードと食用コオロギ	株式会社グリラス / フードテック官民協議会 サーキュラーフード推進ワーキングチーム
4-13	抹茶体験	一般社団法人和食文化国民会議
4-14	日本食材 PR・食文化発信	日本貿易振興機構 / 日本食品海外プロモーションセンター / 日本政府観光局
4-15	盆栽の女王 赤石五葉松 輸出盆栽	合同会社赤石の泉 (赤石五葉松輸出振興組合) / 一社全国花き輸出拡大協議会

【2階】

協議会からの出展は2-E が該当



ブース番号	展示テーマ	出展者名
2-1	持続可能な木材利用によるネット・ゼロ及び循環経済に向けて	国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所 / 一般社団法人日本ウッドデザイン協会
2-2	FAO の紹介	国際連合食糧農業機関 (FAO) 駐日連絡事務所
2-3	持続可能な食料・農業システムの構築 (アフリカにおける実施事例)	農林水産省輸出・国際局新興地域グループ
2-4	日本における有機農業拡大の取組	一般社団法人日本有機農産物協会 / 農林水産省
2-5	私たちが誇るべき "GI" という財産	農林水産省輸出・国際局知的財産課
2-6	途上国・新興国の栄養改善とビジネス展開	一般財団法人食品産業センター 栄養改善事業推進プラットフォーム
2-7	「みどりの食料システム戦略」における農産物の温室効果ガス削減「見える化」の取組	農林水産省みどりの食料システム戦略グループ
2-8	JAS 品等の紹介	独立行政法人農林水産消費安全技術センター (FAMIC) / 農林水産省
2-9	GAP (農業生産工程管理) と SDGs	農林水産省農産局農業環境対策課 / 農林水産省畜産局畜産振興課
2-10	窒素施肥量を大幅に削減できる "BNI 強化小麦"	国立研究開発法人国際農林水産業研究センター / 農林水産省
2-11	日本の花き文化紹介を通じた園芸博の P R	公益社団法人 2027 年国際園芸博覧会協会
2-12	大阪・関西万博	内閣官房国際博覧会推進本部事務局
2-13	東日本大震災からの復興	復興庁
2-A	自動収穫ロボット	株式会社デンソー / 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
2-B	コンパクト電動トラクタ	株式会社クボタ
2-C	農業用電動トラクタ	ヤンマーアグリ株式会社
2-D	電動乗用モーター	井関農機株式会社
2-E	日本農業遺産 (大根やぐら)	G7 宮崎農業大臣会合協力推進協議会
P-1	私たちが誇るべき "GI" という財産	農林水産省輸出・国際局知的財産課
P-2	日本の農村風景	農林水産省農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課

## (13) 会場装花

### ア 実施主体

協議会

### イ 目的

歓迎とおもてなしの気持ちを表すとともに、県産の花きをPRするため、会場を華やかに装飾した。

### ウ 場所

コンベンションセンター各所

### エ 展示内容

	名称	施行主体	内容
4階	本会場装花	「みやざき花で彩る未来」推進協議会	中央装花1
	要人控室装花		壺花1、卓上装花1
3階	バイ会談場歓迎装花		入口装花1
	バイ会談場卓上装花		卓上装花7
2階	ホワイエ装花	宮崎市園芸振興協議会花き部会	フラワーボード1
	歓迎パネル装花	宮崎市草花生産協同組合	歓迎装花1
2階通路	ウェルカム装花	宮崎市教育委員会用務員部会	プランター400 アレンジ14

### オ パネル、キャプションなどでの使用言語

英語、日本語

## (14) 宮崎出発・お見送りプログラム

### ア 実施主体

協議会

### イ 日時

令和5年4月22日(土)～24日(月)

### ウ 場所

宮崎ブーゲンビリア空港西側関係者駐車場

### エ お見送り

河野知事、清山市長、サポーター、宮崎県協力職員、  
宮崎空港ビル及びエアライン関係者

### オ 内容

宮崎ブーゲンビリア空港西側関係者入口に設置したサンクスボード(ウェルカムボードの表面を張替え)前で、参加国・国際機関の代表らを手旗を振ってお見送り

※ 23日(日)のフランス、EU、日本は上記エ、オの内容でお見送り

※ それ以外の参加国・国際機関については、宮崎県職員、宮崎空港ビル関係者、委託先職員でお見送り。



サンクスボード

# 第2章 G7宮崎農業大臣会合

## (15) アフターツアー

### ア 実施主体

農林水産省、協議会

### イ 日時

令和5年4月23日(日) 正午～午後2時00分

### ウ 目的

G7宮崎農業大臣会合の円滑な運営に携わった児童・生徒やサポーター等を対象に、会合の様子やその成果を知ってもらうため、本会合終了後に会場見学ツアーを開催した。

### エ 参加者等

126人

	グループ	参加者	人数
1	第1グループ	高校生の提言プロジェクト参加生徒	11人
2		歓迎パネル作成及びお出迎え参加児童	28人 (9人)
3	第2グループ	キッズプレスプロジェクト参加児童	35人 (16人)
4		G7宮崎農業大臣会合運営ボランティア	27人
5		絵画・ポスターコンクール最優秀賞・優秀賞受賞者	25人 (13人)

※括弧内の数は、対象者の保護者及びその家族の内数

### オ 内容

グループに分かれて行動し、3つの見学場所を15分ごとに時間を区切って順番に移動。

参加者の一部は、会場から現地視察に出発する参加国・国際機関の代表らをお見送りした。

見学ゾーン1 本会場及び共同記者会見場の見学と写真撮影

- ①本会場での「なりきりフォトセッション(写真撮影)」
- ②共同記者会見場の視察

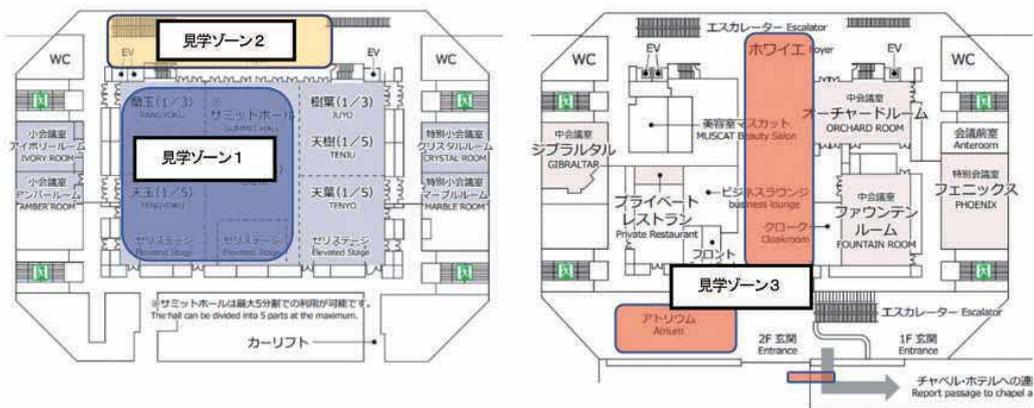
見学ゾーン2 会場展示の見学及びコーヒースタンド体験

- ①農林水産省及び宮崎県の会場展示を見学・体験(世界農業遺産VR映像など)
- ②コーヒースタンドと同じ内容のスイーツの試食

見学ゾーン3 観光・物産展示の見学及び体験等

- ①農林水産省の会場展示及び宮崎県の観光・物産展示の見学・体験
- ②歓迎パネル前及び大根やぐらの下で写真撮影

### カ 配置



## 2 サイドイベント(セミナー)

### ア 日時

令和5年4月21日(金)

セミナー1 午前10時30分～午前11時50分

セミナー2 午後1時30分～午後3時00分

セミナー3 午後4時00分～午後5時20分

### イ 場所

コンベンションセンター2階「ファウンテン」

### ウ 内容

(ア) セミナー1「持続可能な木材利用によるネット・ゼロ及び循環経済の実現に向けて」

#### a 基調講演

米国 イェール大学 建築学部教授 アラン・オルガンスキ

#### b パネルディスカッション

##### (a) モデレーター

国際熱帯木材機関 (ITTO) 事務局長 シャーム・サックル

##### (b) パネリスト

カナダ ブリテッシュコロンビア州 雇用・経済開発・イノベーション省 貿易担当副大臣 ジャグループ・ブラル

国際連合食糧農業機関 (FAO) 事務局次長 マリア・ヘレナ・セメド

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 所長 中静 透

マレーシア木材協議会 最高執行責任者代理 兼 国際事業開発部門長 タン・ティン・ワイ

(イ) セミナー2「強じんて持続可能な農業食料システム構築に向けて～フードサプライチェーンにおける食品産業の貢献～」

#### a プレゼンテーション

味の素株式会社 取締役 代表執行役社長 最高経営責任者 藤江 太郎

明治ホールディングス株式会社 代表取締役社長 CEO 川村 和夫

ドイツ・アグリビジネス・アライアンス 代表 ユリア・ハルナル

国際農業開発基金 (IFAD) 総裁 アルバロ・ラリオ

#### b パネルディスカッション

##### (a) モデレーター

ジャーナリスト 大村 朋子

##### (b) パネリスト

前述のプレゼンター4名

(ウ) セミナー3「気候変動に対応するイノベーションと行動～みどりの食料システム戦略を契機として～」

a プレゼンテーション

農林水産副大臣 野中 厚

フランス農業食料主権省環境部局次長 セバスチャン・ブヴァティエ

養豚・穀物農家兼全米豚肉委員会理事 デイル・ステバーマー

b パネルディスカッション

(a) モデレーター

気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 第6次評価報告書 (第2作業部会、第5章)

統括執筆責任者 / 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構所属

長谷川 利拡

(b) パネリスト

農林水産省技術総括審議官兼農林水産技術会議事務局長 川合 豊彦

フランス農業食料主権省環境部局次長 セバスチャン・ブヴァティエ

養豚・穀物農家兼全米豚肉委員会理事 デイル・ステバーマー

c 特別講演と総括

米国農務長官 トーマス・ビルサック

## 3 その他

### (1) 協議会からの贈り物

#### ア 参加国・国際機関の代表への記念品

##### (ア) 内容

- a 野村農林水産大臣記念品  
島津薩摩切子 猪口((株)島津興業、鹿児島県)
- b 河野宮崎県知事記念品  
わら細工「祝結び」(わら細工たくぼ、西臼杵郡日之影町)
- c 清山宮崎市長記念品  
宮崎漆器 弁当箱、箸、箸置き((福)宮崎県大島振興協会、宮崎市)

##### (イ) 贈呈先

参加国・国際機関の代表 12名



わら細工「祝結び」  
宮崎県記念品



宮崎漆器 弁当箱、箸、箸置き  
宮崎市記念品

#### イ 参加国・国際機関の代表への記念品(歓迎レセプション時)

##### (ア) 内容

宮崎県産杉製コサージュ「木サージュ」((有)丸満産業、日向市)

##### (イ) 贈呈先

参加国・国際機関の代表 12名(歓迎レセプションでの着用後、贈呈)



## ウ 参加国・国際機関の関係者への記念品(コングレスバック)

### (ア) 内容

準備主体		品名
農林水産省	記念品	コングレスバック(会合オリジナル缶バッジ付き)
		クリアファイル
		三色ボールペン
	パンフレット等	ハンドブック(*)
		展示ガイドパンフレット
その他チラシ3種		
協議会	記念品	飫肥杉製 万年カレンダー(南那珂森林組合、日南市)
		宮崎漆器 一膳箸・箸置きセット((福)宮崎県大島振興協会、宮崎市)
		クリアファイル
	パンフレット等	記念品の紹介メッセージ
		Miyazaki Travel Guide

※パンフレット等は日英併記(\*は英語のみ)

### (イ) 贈呈先

参加国・国際機関の関係者 約200名



左からコングレスバック、万年カレンダー、箸・箸置きセット、ボールペン、パンフレット・クリアファイル等

## (2) ウェルカムカード

子どもたちからの歓迎の気持ちを文字や写真で伝える「ウェルカムカード」を制作し、参加国・国際機関の代表団が宿泊するシェラトン客室内に設置した。

### ア 実施主体

協議会

### イ 作成者

宮崎市立中学校 25校

### ウ 作成期間

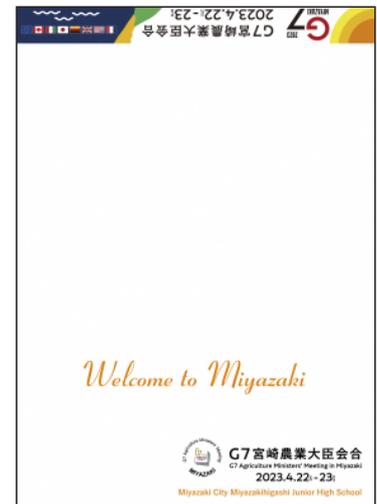
令和5年3月10日(金)～29日(水)

### エ 規格

二つ折りのカード(縦260mm×横183mm)

### エ 内容

全てのカードに、「ようこそ宮崎へ」等のメインメッセージのほか、来県を歓迎する言葉やイラスト、自分たちの住んでいる地域の魅力などを記入し、作成した生徒の写真を貼付した。



## (3) ウェルカムフルーツ等の提供

### ア 実施主体

協議会

### イ 日時

令和5年4月20日(木)～21日(金)

### ウ 提供したもの

- ・ウェルカムフルーツ：県産イチゴ、メロン、日向夏の盛り合わせ
- ・ウェルカムティー：県産煎茶、釜炒り茶のティーバッグ

### エ 提供した場所

参加国・国際機関の代表団が宿泊したホテル客室(計103室)

※ウェルカムカードと合わせて設置した



## (4) 知事・市長記者会見

### ア 実施主体

協議会

### イ 日時

令和5年4月21日(金)～23日(日)

### ウ 場所

コンベンションセンター、宮崎ブーゲンビリア空港

### エ 内容

県民に会合開催を周知するため、会合期間中に知事・市長の記者会見を3回実施

### オ その他

東京オリンピック・パラリンピックで使用された県産木材を活用して、会合での記者会見用のバックボードを制作



記者会見を行う清山市長、河野知事



県産木材を活用した  
バックボード

## (5) G7キッズプレスプロジェクト(会合時の取組)

宮崎小学校の児童2人、生目南中学校の生徒2人がG7各国の大臣や会場展示・アフターツアーの取材を行うとともに、共同記者会見において質問を行い、紙面掲載を行った。

### ア 実施主体

協議会(株式会社宮崎日日新聞社との共同企画)

### イ 日時

取材等日時	相手方	内容	取材者
令和5年4月21日(金)	カナダ ビボー大臣	取材	中学生
	ドイツ エズデミル大臣	取材	
令和5年4月22日(土)	E U ヴォイチェホフスキ委員	取材	小学生
	フランス フェノー大臣	取材	
	イタリア ロッロブリージダ大臣	取材	
	英国 ハリソン大臣	取材	
令和5年4月23日(日)	米国 ビルサック農務長官	共同記者会見での質問	中学生

※4月21日、22日は会場展示の取材も実施。

※4月23日はアフターツアーの取材も実施。



ヴォイチェホフスキ委員(EU)への取材前に名刺を手渡す楨さん(中央左)



ハリソン大臣(英)へ取材を行う笠さん(一番右)



エズデミル大臣(独)へ取材を行う山之内さん(一番左)



共同記者会見にて質問を行う澤野さん



### (6) インフォメーションデスクでの対応

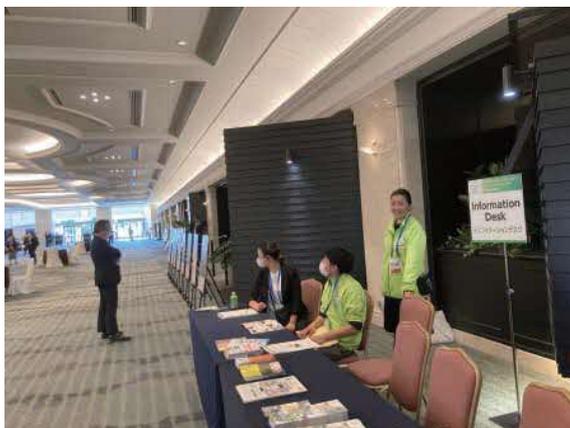
会合参加者に対し、宮崎県・宮崎市の概要や観光情報等を案内するコーナーを設置し、PRした。

#### ア 実施日

令和5年4月21日(金)～23日(日)

#### イ 場所

コンベンションセンター2階ロビー



各種パンフレットを設置し、会合関係者向けに宮崎県・宮崎市の観光情報等を案内